川崎市社会福祉協議会　ボランティア活動振興センター

地域福祉情報バンク通信

2021年 冬号

季刊（№49）

発行：川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク
川崎市中原区上小田中6-22-5　川崎市総合福祉センター6階
電話：044-739-8720／FAX：044-739-8739／Email：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

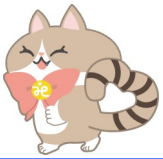
2021年冬号の内容は…

★Share Smile かわさきの取り組みについて
★「特別養子縁組・里親」に関する図書・DVDの紹介
★ふくし相談・パワーアップセミナー　他
★新着図書&DVDの紹介・ボランティア活動保険

…など、今号も情報満載でお届けします！

川崎市社会福祉協議会
キャラクター　ななふく

ふだんのくらしのしあわせ を支えよう
#Share Smile かわさき



新型コロナウイルスの感染拡大により、対面での活動が多かった地域福祉活動も、3密を避けオンラインを取り入れるなど、新しい生活様式に沿った活動を始めています。今、社会福祉施設では感染拡大防止に努めながらも大切な人たちを守るため、施設職員が懸命に支援を続けています。

川崎市社会福祉協議会では、市民をはじめ関係機関・団体、行政等と一丸となって、ともにこの困難を乗り越えていくため、「Share Smileかわさき　心のキョリは離れない～今できること～」を掲げ、いくつかの取り組みを始めました。

食糧支援かわさき（SOSかわさき事業）【食かわ】

市内の社会福祉法人と連携し、社会福祉施設や企業、地域の方から食糧の寄付を募っています。集まった食糧は相談機関を通じて、収入減少等で生活に困っている方々へお渡ししています。

集まった食糧　約4,000品
配布した食数　約270世帯
（11/30現在）

とどけようかわさきマスク【とどけマス】

ご家庭などで使う予定のないマスクを回収し、市内の保育園・老人福祉施設・障害者支援施設等、今必要としている施設へお渡ししました。

集まったマスク　40,209枚
配布した施設　152施設
（11/30現在、回収は10月末で終了）

ご協力ありがとうございました！

オリジナル缶バッジ購入による寄付

マスクや食糧の提供は難しいけれども、何かしらの形で協力したいという方に、オリジナル缶バッジ購入による寄付（1個100円以上）をお願いしています。オリジナル缶バッジの購入は資金面での協力に、オリジナル缶バッジを身に着けていただくことは啓発活動への協力にもつながっています。

現在は社会福祉施設や社協関係者だけでなく、保育園の保護者など、これまで社協に関わっていなかった方へも支援の輪が広がりつつあります。（缶バッジの取扱い窓口は、川崎市社会福祉協議会のみとなっております。）

いただいた寄付金は、社会福祉施設へのプラスチック手袋等の購入資金や学生への食糧支援など、その状況に応じて必要な支援の資金とさせていただきます。

※「月刊福祉」1月号に＃Share Smileの取り組みが掲載されます。

特集 「特別養子縁組・里親」に関する図書の紹介

～地域福祉情報バンクで貸出しています～

「特別養子縁組」とは、子どもが生涯に渡り、安定した家庭で愛情に包まれて育つために作られた公的な制度です。子どもと育ての親は家庭裁判所の審判によって戸籍上も実の親子となることができます。一方、「里親」とは、生みの親の元で育つことが困難な子どもを預かり、家庭環境で一定期間養育を行う制度のことです。どちらも子どもと育ての親との間に血縁関係はありませんが、愛情あふれる家族のあり方の一つです。

日本では経済的な理由や親からの虐待などによって、親と一緒に暮らせない子どもの多くは、乳児院や児童養護施設で暮らしています。海外のように「特別養子縁組」や「里親」が当たり前の選択肢の一つとなり、温かな家庭で育つ子どもたちを増やすために、まずは現状を知るところから始めてみませんか？

産まなくても、育てられます

不妊治療を超えて、特別養子縁組へ

子どもを迎えた夫婦の体験談から特別養子縁組に必要な知識と手続きまで、「親」になるために知っておきたいことのすべてをまとめました。

（後藤絵里:著/講談社/2016年発行）

ちいさな大きなたからもの

特別養子縁組からはじまる家族のカタチ

夫妻の体験を通じて、不妊治療に悩んでいる方や、病気、その他さまざまな事情で子どもをあきらめないといけないと思っている方たちにむけて、産むことだけが選択肢ではなく特別養子縁組という選択肢もあるということを示した作品です。

（瀬奈じゅん・千田真司:著/方丈社/2019年発行）

「赤ちゃん縁組」で虐待死をなくす

愛知方式がつないだ命

愛知県の児童相談所では、産みの親が育てることができない赤ちゃんを、特別養子縁組を前提とした里親委託によって、生まれてすぐから家庭の中で育てる取り組みを30年来続けてきました。かつて一地方公務員の手で始まったこの前例なき取り組みが注目されています。

（矢満田篤二・萬屋育子:著/光文社/2015年発行）

里親家庭で生活するあなたへ

里親と実子のためのQ&A

里親家庭で生活する子どもたちの疑問にいつでも答えられることを目的とした、子どもたちのためのサポートブックです。全体で46個のQ＆Aで構成されています。

（山本真知子:著/岩崎学術出版社/2020年発行）

新しい絆の作り方

特別養子縁組・里親入門

DVD

「特別養子縁組」や「里親」に関心がある人に向けて、当事者の声や家族が直面しがちな課題と対応法、大人になった当事者のインタビュー、地域で支える仕組みについて伝える全２巻のＤＶＤです。

（合計255分/NHK厚生文化事業団/2018年発行）

関連図書

- ●ゆりかごにそっと　熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」に託された母と子の命/蓮田太二/方丈社/2018年発行
- ●弁護士・実務家に聞く 里親として知っておきたいこと　里親養育Q&A/特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN/海鳥社/2019年発行
- ●朝が来る（文庫版）/辻村深月/文藝春秋/2018年発行

困ったらひとりで悩まず相談しよう（ふくし相談）

川崎市社会福祉協議会では、「ふくし相談」として福祉に関する様々な相談を電話または来所にてお受けしています。相談内容に応じて問題解決の手助けができるように福祉サービス・関係機関等の情報提供や助言をおこなっておりますので、お気軽にご相談ください。

担当の相談員が相談をお受けしますが、必要に応じて弁護士や精神科医師、臨床心理士による専門相談の紹介も行っております。

●相談方法

電話・来所でお受けします。

●相談受付時間

月曜～金曜（祝日・年末年始を除く）
9：00～12：00、13：00～16：00

●相談場所・お問い合わせ先

地域福祉情報バンク（川崎市総合福祉センター6階）
電話：044-739-8719 （ふくし相談）

ボランティア・市民活動のための パワーアップセミナー 開催

2月6日（土） 13:00～

パワーアップセミナーでは、団体運営に役立つさまざまな内容のセミナーを行っています。市内で活動するボランティア・市民活動団体が活動を継続する上で抱えている課題（組織運営・広報・財務会計等）を、テーマ別に取り上げています。次回のテーマは**「協働を進めるためのリーダーシップ」**です。これからの時代のリーダーシップとして注目されている「サーバントリーダーシップ」をキーワードに、組織運営のためにはどんなリーダーが求められているかを学び合う内容になっています。
課題の解決と団体のスキルアップのために是非ご参加ください！

講　師　：長浜洋二さん
（モジョコンサルティング代表、 町田市地域活動サポートオフィス統括ディレクター）
会　場　：川崎市総合福祉センター 6階研修室　※オンライン開催になる可能性があります
受講料　：1,000円
問合先　：川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター
044-739-8718

講師：長浜洋二さん

アンケートへのご協力をお願いします

「地域福祉情報バンク通信」は、2008年12月に創刊し、福祉関連情報をお伝えする情報紙として年4回発行しております。おかげさまで、今年で13年目となり、第49号を発行することができました。次号第50号発行を迎えるにあたり、アンケートを実施することとなりました。今後の方向性や掲載内容の見直しのため、読者の皆様からのご意見を伺い、今後の紙面作りに活かしていきたいと思います。

アンケート結果は、次号で報告予定ですので、2月15日（月）までにご回答いただけますと助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

質問は10問、簡単なチェック式（一部記述式）です。
ご意見お待ちしております！

アンケートフォームはこちらから

https://forms.gle/4D1YoRMtnXaB666p9

新着図書&DVDの紹介

【図書】（書名／著者・編者名／出版社）

●逝く人を支える　ケアの専門職として、人生の最終章に寄り添う／玉置妙憂／中央法規出版

●健康以下、介護未満　親のトリセツ／カータン／KADOKAWA

●もはや老人はいらない！長生きが喜ばれない介護社会の大問題／小嶋勝利／ビジネス社

●人生100年時代の医療・介護サバイバル／中澤まゆみ／築地書館

●発達障害のある子の相談・支援のキホン52／阿佐野智昭／中央法規出版

●目の見えない人は世界をどう見ているのか／伊藤亜紗／光文社

●障がい者だからって、稼ぎがないと思うなよ。／姫路まさのり／新潮社

●ボランティアをやりたい！高校生ボランティア・アワードに集まれ／さだまさし・風に立つライオン基金／岩波書店

●ボランティアってなんだっけ？／猪瀬浩平／岩波書店

●現場で磨くケースワークの技「バイステックの原則」を基に／高山俊雄／現代書館

●食べることと出すこと／頭木弘樹／医学書院

●ケアマネ・福祉職のためのモチベーションマネジメント　折れない心を育てる21の技法／高室成幸／中央法規出版

●援助者必携　はじめての精神科　第3版／春日武彦／医学書院

●心を病んだらいけないの？　うつ病社会の処方箋／斎藤環・與那覇潤／新潮社

●Gift　物語るケア／井部俊子・いいね看護研究会／日本看護協会出版会

●嫌われる勇気／岸見一郎・古賀史健／ダイヤモンド社

●母を捨てるということ／おおたわ史絵／朝日新聞出版

●家族のトリセツ／黒川伊保子／NHK出版

●そして、バトンは渡された（文庫）／瀬尾まいこ／文藝春秋

●新・ちいさいひと　青葉児童相談所物語②～⑤／夾竹桃ジン／小学館

【DVD】（題名／制作・販売／仕様）

●摂食障害　理解と回復のために（3巻セット）／NHK厚生文化事業団／202分

地域福祉情報バンクの蔵書検索は『ふくみみ』で！
http://k-fukumimi.com/

ボランティア活動保険について

ボランティア活動保険の特定感染症に指定感染症（新型コロナウィルス）が追加され、 補償の対象となりました。 詳細は「ふくしの保険ホームページ」（http://www.fukushihoken.co.jp）をご参照ください。

また、ボランティア活動保険は年度ごとの加入となっており、今年度の補償期間は３月31日で終了となります。補償期間の終了する前に次年度の手続きを行うこともできますので、川崎市社会福祉協議会、及び各区社会福祉協議会までお問い合わせください。

地域福祉情報バンクは、平日8：30～17：00まで開所しております。毎月第4水曜日は、川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）の保守点検日のため、17：00以降に1階受付窓口での図書・DVDの返却ができませんのでご注意ください。

「地域福祉情報バンク通信」
発行月のお知らせ

次号は4月１日発行予定です

本年もよろしくお願いいたします。

「地域福祉情報バンク通信」の担当も４年目となりました。通信をご覧になられた方が「この本はありますか？」と来所されることが嬉しく、それを励みに、毎号作成しています。

今回9年ぶりにアンケートを実施することになりました。皆様からのご意見・ご感想を是非お聞かせください。お待ちしております！（ま）

Email：jyoho@csw-kawasaki.or.jp
電話：044-739-8720 ／ FAX：044-739-8739

イラスト：いらすとや